

戦後日本デザインの軌跡

1953-2005 — 千葉からの挑戦

ラジオからハイブリットカーまで。



2006年4月1日(土)-5月28日(日)10:00-18:00

一般800(640)円/大学・高校生 560(450)円/中・小学生 240(200)円 ()内は団体30人以上

千葉市美術館

Chiba City Museum of Art 〒260-8733千葉市中央区中央3-10-8 / TEL 043-221-2311(代) <http://www.city.chiba.jp/art>

主催:千葉市美術館 読売新聞東京本社 美術館連絡協議会 後援:千葉大学 千葉大学工学部 千葉大学工学同窓会 助成:財団法人地域創造 協力:社団法人日本インテリアデザイナー協会 日本デザイン学会
 協賛:花王株式会社 株式会社アイ・デザイン 株式会社イトーキ 株式会社INAX 株式会社エイヘクス 株式会社岡村製作所 サーモス株式会社 株式会社ジイケイダイナミクス 積水ライフテック株式会社
 タイハツ工業株式会社 東陶機器株式会社 日機装株式会社 株式会社ノリソ 三菱自動車工業株式会社 三菱電機株式会社 ヤマハ発動機株式会社 株式会社黎デザイン総合計画研究所 X 天室水工 K.O.T.O.B.U.K.I

休館日:毎週月曜日
 祝日以外の金曜日は20:00まで
 入館受付は閉館30分前まで



宝くじは
 豊かさ築く
 チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
 役立てられています。

戦後日本 デザインの軌跡 1953-2005 — 千葉からの挑戦



三田村ナツミ
＜ハイクラウンチョコレート＞
1965年 森永製菓



矢崎克彦＜ユニカラー＞
1990年 三菱鉛筆



アートディレクション 青木茂吉/
デザイン 藤代栄三郎・杉浦俊作
＜エムジー5化粧品＞
1967年 資生堂



Qデザイナーズ＜カスロン601＞
1967年 コパル



奥谷康裕
＜ケツメイシ「君にBUMP」ジャケットデザイン＞
2004年 toy's factory



黎インダストリアルデザイン事務所
＜営団地下鉄サインシステム＞
1973年 帝都高速度交通営団

現在私たちが「日本の美術」と呼ぶもの、とりわけ近世以前に生みだされたものの多くはかつて生活の飾りであり、暮らしを彩る意匠でした。衣服や調度の制作が手技から機械に替わり、その形や色が「デザイン」と呼ばれるようになって、日本人はもの作りに洗練された美意識を発揮し、その仕事ぶりは世界的に高い評価を受けています。

本展は、千葉大学工学部工業意匠学科の出身者たちによるデザインを集めたものです。千葉大学工学部は1921年に創設された東京高等工芸学校を前身とし、その伝統のもと全国的にもきわめて早い時期からデザイン教育に着手、戦後の経済復興期から高度成長期にかけて家電やインテリア、広告など幅広い分野に優れたデザイナーたちを送りだしてきました。展示内容は自動車やカメラ、公共サインなど約400点。1950年代から現在までの各時代を象徴する、懐かしくも新しいカタチの数々をご覧ください。

■関連イベント

◇監修者による基調講演

4月8日(土)午後2時より 11階講堂にて・先着順に150人まで受付(入場無料)

宮崎紀郎(千葉大学工学部デザイン工学科教授)

「デザインって何でしょう?—メディア化するデザインと私たちの暮らし」

◇デザインを語る土曜講座 *いずれも午後2時より11階講堂にて・先着順に150人まで受付(入場無料)

4月15日 八島治久(八島治久デザイン事務所代表)

「もてなしのデザイン34年—銀座和光とJRタワー札幌のウィンドウディスプレイ」

4月22日 浅賀武(株式会社アイ・ピー・ピー)「夢・感動・人 そしてデザイン—カメラと光学機器」

4月29日 吉田光利(花王株式会社パッケージ作成部 部長)「普段はきけないパッケージ・デザインの話」

5月6日 井嶺伸介(テレビ朝日技術局美術制作センター デザイナー)

「テレビ番組の舞台裏お見せします—美術デザインの話」

5月13日 山内勉(松下電工株式会社デザイン部・社団法人日本インダストリアルデザイナー協会)

「生活を創るデザイナー—家電と暮らしの進化論」

5月20日 石崎弘文(ダイハツ工業株式会社デザイン部 部長)「私のためにデザインした車—ダイハツコペン」

5月27日 宮崎清(千葉大学理事・副学長)「文化をつくるデザイナー—千葉からの挑戦」

◇ワークショップ *いずれも中学生以上対象・定員20人・参加費1,000円・午後2時より11階講堂にて

5月7日(日)「これが私のシンボルマーク」

講師:宮崎紀郎(千葉大学工学部デザイン工学科教授)

→あなたのチームやあなたのお店、そしてあなた自身のオリジナルシンボルマークを作ってみませんか?

5月21日(日)「変形多面体のパッケージ—きれいなカタチのギフトボックス」

講師:丸山和子(丸山和子デザイン事務所)

→どこから見てもカタチの違い、あなただけのギフトボックスを作ってみませんか?

*参加ご希望の方は、往復葉書に住所・電話番号・氏名・年齢・性別・人数(お二人まで)・どちらのワークショップかを明記し、千葉市美術館「デザイン展ワークショップ」係までお申し込みください(締切は4月28日必着・応募多数の場合は抽選)。

◇ギャラリートーク *いずれも午後2時より・チケットを持って8階展示室入口にお集まりください

4月16日(日) / 森仁史(デザイン史研究者・本展監修者)

4月7日(金)・4月21日(金)・5月5日(金祝) / 担当学芸員

毎週水曜日 / 美術館ボランティアスタッフ

■次回予告 海に生きる・海を描く〜応挙、北斎から杉本博司まで〜

- 千葉駅東口より
- 徒歩約15分
- 千葉都市モノレール県庁前方面行き
「霞川公園駅」下車徒歩5分
- バスのりは7番より大学病院行き または 南矢作行き
「中央3丁目」下車徒歩2分
- JR千葉駅へは東京駅地下ホームから
総武線快速千葉方面行で約42分
- 京成千葉中央駅東口より徒歩約10分
- 東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野
木ジャンクションから木更津方面へ貝塚IC下車国道51
号を千葉市街方面へ約3km広小路交差点近く
- 地下に駐車場有り



〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8
TEL 043-221-2311(代)
<http://www.city.chiba.jp/art>

